

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域ボランティア（ハーモニカ、紙芝居等）の訪問が月2回程度あり、地元高校演劇部（アルプスの少女ハイジ）の公演もある。母体医療法人主催の「高須夏祭り、盆踊り、おみこし等」には多数の地域の方々の参加がありつきあいが広がっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 今年度は2月、7月、10月の年3回開催した。役場は協力的で職員は毎回必ず出席している。参加者は役場健康福祉課職員、社会福祉協議会職員、民生委員、利用者家族、ホーム側等である。会議で出された意見、要望等はスタッフ会議等で検討し実現に向けて取り組んでいる。	評価 ×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議以外でも利用者の情報（迷子等、安全のため、写真、特徴）を提供し協力を得ている。市町村主催の8/18日「認知症の人とその介護者との付き合い」9/9日「認知症ケア現場に活かすパーソン・センタード・ケア」研修会に参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会は設けていない。利用者、家族の苦情、要望は家族の面会時に積極的に聴くようにしている。また、利用者の誕生日に行う家族食事会にも聴くようにし改善に努めている。ホーム便りは年4回（春夏秋冬）に発行されている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ × ○
総合評価		×

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

②項の運営推進会議の開催が年3回であったため、評価は出来なかったが他の項目は評価できた。①項では、町内会、老人クラブ、子ども会等の交流が広がれば、つきあいがもつと広がると思われる。③項、役場との連携は情報の提供でより距離が近くなり親密になっている。④項、家族食事会は要望等聴くには大変良い機会を捉えている。